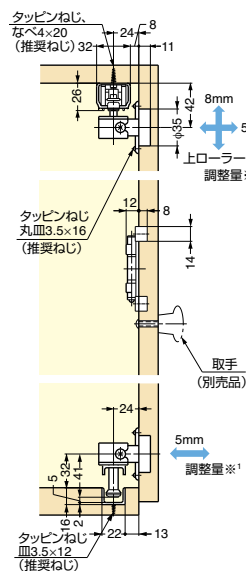
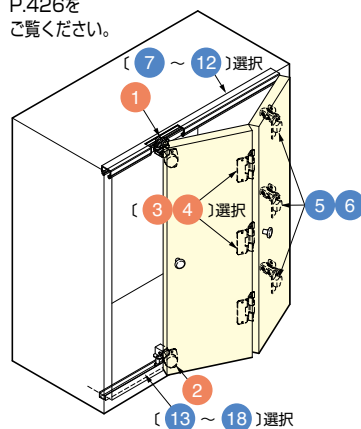


本カタログに掲載している製品内容は、部品としての品質範囲です。この部品を使用した最終製品の機能・性能・安全を保証するものではありません。

■下ローラー Lタイプ 納まり寸法例

丸番号は部品番号です。
右ページの部品表と照らし合わせてご覧ください。
下ローラー Sタイプは
P.426を
ご覧ください。



※1 扉の高さは-4mmから+4mm、
前後-2.5mmから+2.5mmの
範囲で調整可能。

吊金具が外から見えない、かぶせ仕様の折戸金物。

■扉仕様 [幅:450mm以下] [厚さ:15~22mm] [高さ:2400mm以下] [質量:10kg以下/扉1枚当り]

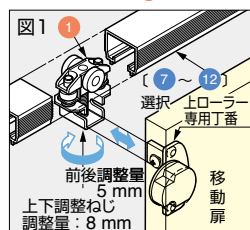
■特長

- 上レールは外部からのほこりを防ぎ、扉をスムーズに動かします。
- センターヒンジは開閉時のキャッチ機能と全閉時の衝撃吸収機能付きです。
- ローラーを調整することにより、扉位置を上下・前後に調節ができます。

■注意

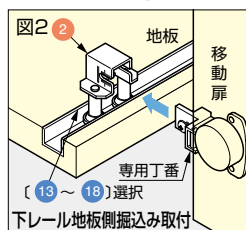
扉が規定質量を越えると、開閉が重くなることがあります。扉寸法が大きい場合は、フラッシュ構造などにより10kgを越えないようにしてください。

■上ローラー①の取り付け



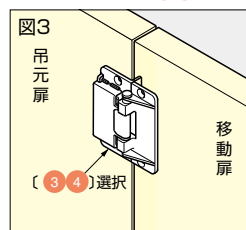
- ・上レール⑦~⑫を取付ける前に図1の向きに上ローラーを上レールに入れておきます。
- ・上ローラーブラケットの調整ねじで高さを調整し、移動ドアの上部丁番を上ローラーのブラケットに差し込み仮止めします。

■下ローラーL②の取り付け



- ・下ローラーを下レール⑬~⑮に図2の向きに入れ、専用丁番を差し込んで仮止めします。
- ・全てのねじを仮止め後、扉を動かし滑らかに動くよう調整を行います。最後に、全てのねじを確実に締め付け固定します。

■センターヒンジ③④の取り付け



- ・扉奥面の指定位置に図3の向きで取り付けます。詳細は取付説明書でご確認ください。

■扉寸法の求め方

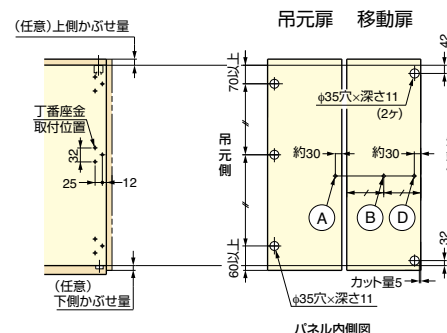
- 吊元丁番のカット量C寸法は下表により求めます。
- 移動扉のカップ穴は右図および下表指定寸法を守ってください(移動扉のカット量は、図示の通りかぶせ量に関係なく5mmです)。
- 取手は別売品です。取付穴は取手に合わせてください。
- 取手位置は使い勝手の良さの点で④、⑤の2ヶ使いをおすすめします(④: 開く時、⑤: 閉じる時)。⑥位置での1ヶ使いもできます。また④位置での1ヶ使いも可能ですが、この場合閉じる時は移動扉の先端部に直に手をかけて引くことになります(④位置は閉じる時には使えません)。

扉高さ	丁番③④数	吊元扉かぶせ量	カット量C寸法
900mm	2ヶ	19mm	5mm
1600mm	3ヶ	18mm	4(5)mm
2000mm	4ヶ	17mm	3(4)mm
2400mm	5ヶ		

注意() 寸法はかぶせ量調節ねじで適用可能。

■扉の加工寸法(扉裏面側)

図は右開きを示します。左開きは勝手違いとなります。



■扉幅寸法(吊元丁番はランプ印230-26/19T使用。その他の場合はご相談ください。)

折戸形式	吊元90°開き	吊元95°開き	各扉開口同寸(87°)
W: キャビネット幅内寸法 扉厚20の時 W₁: 扉幅(扉1、扉4) W₂: 扉幅(扉2、扉3) W₃: 扉幅(扉3) E: 扉のかぶせ量 θ: 折戸吊元扉の開き角度	$W_1 = \frac{W+2E-4.8}{2}$ $W_2 = W_1 + 3.2$	$W_1 = \frac{W+2E-7.8}{2}$ $W_2 = W_1 + 6.2$	$W_1 = \frac{W+2E-1.6}{2}$ $W_2 = W_1$ 角度=87°
	●W₃=W₁のとき $W_1 = \frac{W_3+W+2E-6.4}{3}$ $W_2 = W_1 + 3.2$ ●W₃=W₂のとき $W_1 = \frac{W+2E-9.6}{3}$ $W_2 = W_3 = W_1 + 3.2$	●W₃=W₁のとき $W_1 = \frac{W_3+W+2E-9.4}{3}$ $W_2 = W_1 + 6.2$ ●W₃=W₂のとき $W_1 = \frac{W+2E-15.6}{3}$ $W_2 = W_3 = W_1 + 6.2$	$W_1 = \frac{W+2E-3.2}{3}$ W₁=W₂=W₃ 角度=87°
	$W_1 = \frac{W+2E-11.2}{4}$ $W_2 = W_1 + 3.2$	$W_1 = \frac{W+2E-17.2}{4}$ $W_2 = W_1 + 6.2$	$W_1 = \frac{W+2E-4.8}{4}$ W₁=W₂ 角度=87°

注意1) 吊元扉最大開き角度は扉厚により制約があります。扉厚20mmまでは95°、35mmまでは90°です。但し吊元扉外側コーナーに面取り加工を行えば、90°以上も可能です。

注意2) W₁、W₂寸法の公差は-0.5となります。